

中企庁・中小機構補助金調査事業の背景・目的

プラットフォームによる個社業務の効率化・高度化の程度を可視化する調査に参加してくれる企業を募集中。募集期限はコロナの影響を勘案して5月末までに延長（5末時点で調査完了）。

会津コネクティッドインダストリーズ（製造系中小企業の面的生産性向上）

■ 法人名

アクセントゥア株式会社

■ 面的支援プログラムの概要

製造系中小企業一帯で販売・生産・購買・会計といった主要業務が連動するクラウド型共通業務プラットフォーム(A)を構築、①自社業務の効率化・高度化を図ると共に、将来的に②企業間の業務プロセス連携・共同業務遂行を目指す。また、①の改善を可視化するための業務診断ツール(B)も作成する。

■ プログラム実施場所/実施期間

上記A・Bの開発：2020年8月～2021年3月 / 福島県会津若松市
 上記A・Bの適用：2020年4月～ / 会津若松から実証開始し全国展開予定

■ 補助事業実施期間における支援先の募集 (有) ・ 無

まずは上記Bによる効果概算を希望される製造系中小企業を30社募集します

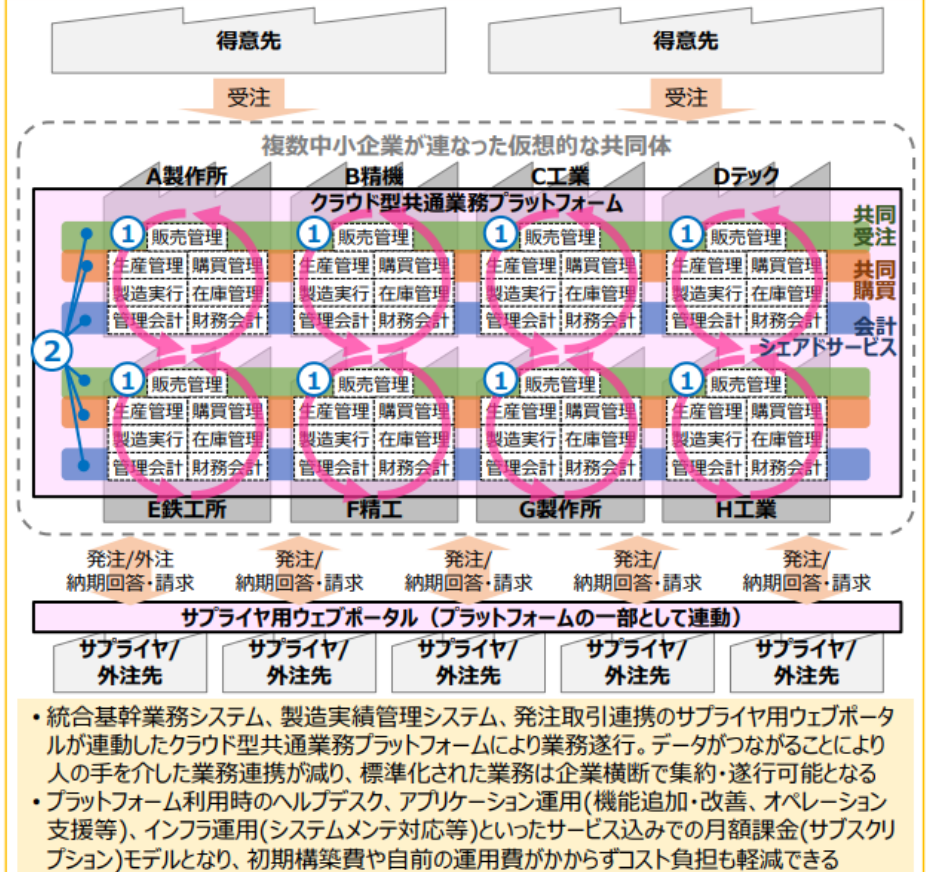
- お申し込み先 テクノロジーコンサルティング本部 担当：佐々木、岡田
 e-Mail: manabu.sasaki@accenture.com ※メールにてお問い合わせいただき、弊社より折り返しの連絡とさせていただきます
ayako.okada@accenture.com

募集期限 2021年3月31日

募集要件 以下 I, II いずれかに該当する製造系中小企業

- 企業間での業務連携・共同業務遂行を目指している会社
 例) ・サプライヤ/外注先との取引のシステム連動(発注/外注、納期回答、請求)
 ・間接材など同一購入品の共同購買、同一業態における共同受注
 ・経理など間接業務を企業群のシェアードサービスとして運営
- 個別業務システムでのバラバラな業務遂行や、Excel/Access等を利用した手作業での業務遂行を脱却してデジタル化を果たしたい会社

クラウド型共通業務プラットフォームのイメージ



簡易業務アセスメント

プラットフォーム導入によるビジネスケースのために開発。経営資源と業務・システムに関する5つの診断シートに回答することで、「業務改善効果」と「ROI・事業計画」を試算。

自社の業務領域毎成熟度を業界水準とベンチマーキング

業務改善効果 ACI標準業務・システム導入による「工数削減」と「業務改善効果」を診断

領域	削減工数(人日)	指標	業務改善効果
生産計画	34.35	突発的作業・外注の減少	60時間削減
製造実行	897.62	誤造・欠陥品の低減	40%改善
		製造リードタイムの短縮	20%改善
		文書流出・紛失リスク低減	発生しなくなる
販売	64.2	納期回答リードタイムの短縮	12時間短縮
...			

各種補助金申請時に必要な事業計画を作成

ROI・事業計画 5か年分の「ROI」と「事業計画」を試算

ROI				事業計画					
形態・費目	TOBE	ASIS	削減額	科目	2019年度	2020年度	...		
CAPEX	人件費	1,000	1,000	0	①売上高	2,000,000	2,100,000		
	ソフトウェア	0	3,300	-3,300	②営業利益	250,000	300,000		
	...				③営業外費用	-1,000	-5,000		
OPEX	人件費	0	2,000	-2,000	経常利益(②-③)	249,000	295,000		
	クラウド	5,100	585	4,515	④人件費	650,000	670,000		
	...				⑤減価償却費	120,000	130,000		
ITコスト合計					6,100	6,885	-785		
BPR効果	生産計画	95	0	95	付加価値額(②+④+⑤)	1,020,000	1,100,000		
	製造実行	6,293	0	6,293	伸び率(%)	-	7.8		
	販売	196	0	196	⑥プラットフォーム関連費用	-	3,000		
	...				⑦給与支給総額	500,000	510,000		
BPR効果合計					6,584	0	6584		
総計					12,684	6,885	5,799		
							伸び率(%)	-	2.0

企業・財務情報

企業情報(会社名、従業員数、産業分類...)
財務情報(売上高、営業利益、人件費...)

ITコスト

システムごとの人件費、ソフトウェア、ハードウェアなどの費用

業務プロセス

各領域の業務概況(選択回答)
・生産計画の立案・管理に関する業務状況
・製造現場の作業管理の状況など

データ件数

各マスタ・トランザクション(品目、指図、仕入先、発注伝票...)のデータ件数

利用システム

ACI標準業務プロセスに対する現行業務での実施有無、利用システム、入力方法(選択回答)

簡易業務診断実施スケジュール

プラットフォームについて深く知りたい場合はフルコース、自社の成熟度の簡易診断のみ希望の場合はライトコースを選択可能。

	時間	フル	ライト	実施内容	参加企業	アクセンチュア
1	説明会 2時間 リモート可	必須	任意	<ul style="list-style-type: none"> プラットフォーム詳細(ERPとは何か等) 診断概要(②でご準備いただく情報の説明等) 	○ 参加	◎ リード
2	事前準備 2週間程度		必須	<ul style="list-style-type: none"> ③に向けて、①でご案内する必要情報をご準備いただく。(P.5~9参照) 別途入カシートあり。 合意書(秘密保持義務等)ご提出。 	◎ 作業	△ 質問回答
3	簡易業務診断セッション 2時間 リモート可		必須	③でご準備いただいた情報を元に、診断ツール(P.3,4参照)への入力。	○ 参加	◎ リード
4	分析作業 1週間程度		必須	③でご提供いただいた情報を基礎として、弊社にて分析。	△ 質問回答	◎ 作業
5	フィードバック 2時間 リモート可		任意	④の結果として導出された結果(改善効果/投資対効果/仮の事業計画等)をご説明。※ライトコースは簡略化(データ送付のみ、時間短縮等)応相談	○ 参加	◎ リード